

【JCI JAPAN グローバルユース国連大使 矢野 優花 さん プロフィール】

氏名	矢野 優花(やの ゆうか)	 写真: 矢野さん(左)
年齢	14 歳	
学校	北九州市立篠崎中学校 2 年	
大使のプロフィール	2010 年 10 月 23 日生まれ 特技:英会話 (英検 1 級) 趣味:ヒップホップダンスと旅行をすること 将来の夢:外交官	
大使の経験談	☆第一回海外研修 in カンボジア☆ カンボジアの内戦については、赤ちゃんや子供などの何も罪もない人たちが虐殺されていたことも分かっていましたが、直接、たくさんの頭蓋骨や、実際赤ちゃんが殺された木などをみて、内戦や紛争の恐ろしさを強く感じました。 戦争というものは日本にいる限り経験しない可能性が高いかもしれませんが、このような経験をしなくて良いように、戦争について知ることが大事だと思い、争いの歴史を知る機会があったから、平和を目指す気持ちが大きくなりました。 ASPAC アンコール大会として開催されたグローバルピースサミット (GPS) では、平和に関する提言の発表をしました。発表は、カンボジアやその他のアジア諸国の方などがたくさん集まって聞いてくれました。 グループワークのプレゼンテーションもありました。課題のテーマは、「日本、カンボジア、そして世界の現状」「それぞれの国にある問題を解決するために私たちができること」「理想の未来」の4つで、私たちは「領土問題」「いじめについて」そして「少子高齢化」についてプレゼンしました。更にカンボジアの問題として「質の良い教育不足」「気温の上昇」「貧困の問題」を取り上げました。 ☆第二回海外研修 in フィリピン☆ フィリピン研修では様々な場所に訪問し、その中でもミンダナオ子供図書館では、ボホール島の歴史について学びました。ミンダナオ図書館では住むところがない子どもが60～70人住んでいます。そのような環境の中であっても、フィリピンはアジアで最も低い自殺率だそうです。その事実にとっても驚きました。おそらく日本はフィリピンより貧困や戦争の問題はないと思いますが、それでも日本の自殺率の方が高いと言うことは、フィリピンの方々がどんな状況でも楽しもうとしているからではないかと思いました。 ☆まとめ☆ 今回の研修で、貧困がない世界、戦争や武器がない世界、偏見がない世界、みんなが生きる理由を感じる環境があることがわかり、このような世界を作るためには、国々で話し合い、問題を見つけ、それを解決するようにする、さまざまな言語を学び、尊重することが重要だと言うことを学びました。改めて難しい問題だと感じましたが、私の経験を少しでも多くの人につたえ、この問題を解決する糸口になればと思っています。	